

伊勢崎市議会議長 大木 光 様

伊勢崎市議会 日本共産党議員団

団長 北島 元雄

令和 7 年度政務活動費支出状況報告書（第2四半期）

伊勢崎市議会政務活動費の交付に関する条例第7条の規定により、次のとおり令和 7 年度第2四半期（7月から9月まで）の政務活動費支出状況を報告します。

1 支出状況

（単位：円）

科 目	今期支出額	左のうち、 今期概算払受領済額	備考
調 査 研 究 費	14,000		
研 修 ・ 会 議 費			
資 料 作 成 費			
資 料 購 入 費	14,551		
広 報 広 聴 費	59,010		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費			
人 件 費			
事 務 所 費	12,716		
合 計	100,277		

2 交付限度額 840,000 円

3 既 交 付 額 208,346 円

4 今 期 請 求 額 100,277 円

5 未 交 付 額 531,377 円

6 添 付 書 類

(1) 領収書

(2) 視察等報告書

(3) 会計帳簿の写し

(4) その他政務活動費の支出に係る証拠書類



令和7年度 政務活動費会計帳簿

交付限度額	840,000
既交付額	208,346
支出額計	308,623

会派名： 日本共産党議員団

整理 番号	日付	科目	内 容	収 入	支 出	差 引
1	4/15	広報広聴費	ホームページ作成更新費用(2025年度分) ※按分		99,000	-99,000
2	4/30	資料購入費	新聞代 4月分		4,517	-103,517
3	5/8	広報広聴費	無料生活法律相談会場費(2025年度分)		24,000	-127,517
4	5/8	資料購入費	「商工新聞」紙代(2025年度分)		6,000	-133,517
5	5/9	調査研究費	ぐんま住民と自治研究所会費(2025年度分)		24,000	-157,517
6	5/14	広報広聴費	ホームページ利用料(2025年度分) ※按分		29,403	-186,920
7	5/28	資料購入費	『みんなのねがい』誌代(2025年度分)		8,400	-195,320
8	5/29	資料購入費	『社会保障』誌代(2025年度分)及び振込手数料		3,992	-199,312
9	5/30	資料購入費	新聞代 5月分		4,517	-203,829
10	6/30	資料購入費	新聞代 6月分		4,517	-208,346
11	7/10	広報広聴費	6月議会報告印刷代		43,610	-251,956
12	7/17		第一四半期政務活動費	208,346		-43,610
13	7/31	資料購入費	新聞代 7月分		4,517	-48,127
14	8/1	調査研究費	第47回全国保育問題研究会研究集会参加費		14,000	-62,127
15	8/1	資料購入費	第47回全国保育問題研究会研究集会報告集		1,000	-63,127
16	8/21	広報広聴費	6月議会報告折込料		15,400	-78,527
17	8/31	資料購入費	新聞代 8月分		4,517	-83,044
18	9/18	事務所費	タブレット電源及びケーブル		12,716	-95,760
19	9/30	資料購入費	新聞代 9月分		4,517	-100,277
20						
21						
22						
23						
24						

令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

11

会 派 名	日本共産党議員団	議員氏名	長谷田 公子
支出年月日	令和7年7月10日 (第2四半期)	支 出 額	43610 円
按分した場合	(金額)	円 × (按分率)	% = 円
使 途 区 分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 ⑤ 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費		
備 考	6月議会報告印刷代 (別紙あり)		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

政務活動費領収書等貼付用紙（続紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。） 整理番号 11

領 収 書

2025年07月10日

日本共産党伊勢崎市議団 御中 長谷田公子 様

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
下記の金額正に領収いたしました。
何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社プリントパック
〒617-0003
京都府向日市森本町野田3-1
TEL 0120-977-920
FAX 075-935-6890

お支払条件 コンビニ決済 納品場所 ご指定場所
御請求金額 43,610円（税込） 納品期日 当日

ご注文番号	内 容	数量	単 価	金 額
PAC43978755	品名：議会報告2025年7月号 A4 / 両面4色 / コート90 / 14,000部×1種類 / 加工1：トンボ仕上がり断裁（ご注文サイズでお納め） 加工2：	1	43,610	43,610
合 計				43,610

特記事項

令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

13

会 派 名	日本共産党議員団	議員氏名	長谷田 公子
支出年月日	令和 7 年 7 月 31 日 (第2四半期)	支 出 額	4,517 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % = 円		
使 途 区 分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 ④. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費		
備 考	新聞代 7月分		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

日本共産党市議団 様

しんぶん 赤旗
領収書

2025 年 7 月分

4,517 円(税込)

新聞・雑誌名	税率	部数	金額(税込)
日刊「しんぶん赤旗」	8%	1	3,497
「しんぶん赤旗」日曜版	8%	1	990
新ぐんま	0%	1	30

(取扱先)
日本共産党伊勢崎・佐波地区委員会 伊勢崎市北千木町2087 TEL 0270-25-4854

日本共産党中央委員会
登録番号 T2700150120822

8%対象	4,155 円(税抜)	消費税	332 円
10%対象	0 円(税抜)	消費税	0 円

領収年月日

7/31

取扱者

[印]

しんぶん赤旗

令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

14

会 派 名	日本共産党議員団	議員氏名	長谷田 公子
支出年月日	令和7年8月 / 日 (第2四半期)	支 出 額	14,000 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % =		円
使 途 区 分	1. 調査研究費 ②. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人 件 費 8. 事務所費		
備 考	第57回全国保育団体合同研究集会参加費(各7000円) オンライン視聴費を含む		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

2025年 8月 / 日

領 収 証

日本共産党伊勢崎市議団 様

¥ 7, 000

第57回全国保育団体合同研究集会 参加費として

全国保育団体合同研究集会実行委員会
 〒162-0837 東京都新宿区納戸町2-6-3
 TEL03-6265-3171 FAX03-6265-8230

2025年 8月 / 日

領 収 証

日本共産党伊勢崎市議団 様

¥ 7, 000

第57回全国保育団体合同研究集会 参加費として

全国保育団体合同研究集会実行委員会
 〒162-0837 東京都新宿区納戸町2-6-3
 TEL03-6265-3171 FAX03-6265-8230

平成 7 年 1 0 月 1 0 日

視察等報告書

整理番号 14

会 派 名	日本共産党議員団	報告者氏名	長谷田 公子
日 時	令和 7 年 8 月 2 2 日（金）～ 9 月 2 3 日（火）※録画配信		
事 項	第 5 7 回全国保育団体合同研究集会in群馬		
場 所	各議員自宅（オンライン参加）		
参加者氏名	北島元雄・長谷田公子		
(目的・理由・内容)			
別紙のとおり			
(成果・所感)			
別紙のとおり			

※（目的・理由・内容）及び（成果・所感）は別途報告様式に替えることができる。

なお、（成果・所感）は、参加者全員が記入する。

研修視察の意見・感想

会派	日本共産党議員団
研修年月日	録画配信 2025年8月22日(金)～9月23日(火)
研修内容	第57回全国保育団体合同研究集会
《報告》 ■保育・子育てフォーラム 「感じる、知る、つながる、豊かな保育・子育てを」(8月2日全大会より、会場:高崎アリーナ) 報告 ●子育て世帯の現状とその変化・社会で支える子育てと保育施設の役割 箕輪明子(名城大学) ●豊かな保育をつくるために大切にしたいこと 田中浩司(東京都立大学) ●互いの「ズレ」や「違い」とともに歩く保育・子育て五十嵐元子(白梅学園大学) ●子どもと生きる平和な世界を築くには 中西新太郎(横浜市立大学名誉教授) 全国保育団体研究集会在14年ぶりに群馬県内で開催された。集会スローガンは「こころつながろう 手をつなごう あふれる笑顔と平和のために」というものだった。 保育制度については子育て支援制度の充実とともに制度の変革が行われてきたが、実際に保育に携わる保育士や子どもを預けている父母の皆さんが集う研究集会では、今の保育の現状や父母の悩みについて深くつかむことができた。 その一つが総就業社会、総就業家族という問題である。労働者の所得抑制などもあって好むと好まざるに関係なく、母親も働きに出ることになった。そして、祖父母も働き続けることが当然になってきている。そのような中での子育ては、これまでとは全く環境が違っている。 この様な中で問題として浮かび上がってきたのは、社会的に就労が保障されるべきなのに、子育ては母親の自己責任として母親だけが追い込まれる状況が進行していることである。そうした中で保育所の役割がますます重要になってきている。その役割に合わせて、保育士の配置基準の見直しなどで、保育士が一人一人に子どもの目を向けられる余裕を持ち、「芽が育つことのできる」保育制度の必要性が強調され、無償化だけでない子育て支援の大事さが改めて認識された。 ■保育子育て講座 分科会(8月3日、会場:高崎アリーナ) ●「いつからでもやり直せる保育・子育て」 池添素(NPO法人福祉広場) 池添氏は京都市内の保育園を電動自転車で回り、一日に数人の子どもや保育士と面接して発達支援をしている方だ。 近年不登校の相談が急速に増えており、池添先生の所にもひっきりなしに相談がくるといふ。単に教室に戻ることを解決の方向とせず、待つ待つ充電して、自らの足で歩き始める援助が大切という。 同時に「学校は最も充実した教育インフラである」との見解を示している。不登校対策の最たるものは、人手を増やし教師の負担を減らし、子どもたちが安心して過ごせると感じる学校にして、不登校を生まない環境づくりを進めるのが一番であるということだった。 ●「障害のある子どもの発達と保育」 木下孝司(神戸大学) 障害のある子どもや発達が「気になる子」を理解していくプロセスで大切にしたいことを振り返り、どの子もゆったりじっくり育ちあうための保育を考えるきっかけづくりとすることを目的とした講義だった。 木下氏は、表面的な問題行動を「困ったこと」とだけ見るのではなく、そこに現れた本人から見える世界を想像して、本人の願いや悩みを考える手がかりとしていくことが大切である、という。障害児保育の基本は、弱いところを治すという発想ではなく、その子が自分の願いを形にする心を育てること、やりたい気持ちを温め育てることが大切であるという。どの子も「か	

研修視察の意見・感想

けがえのない自分」「誇らしい自分」「必要とされている自分」を感じられる保育、安心できる集団づくりを保育の核に置くことが大切と説いた。

●「一人ひとりを大切にする保育と職員集団づくり」 長瀬美子(大阪大谷大学) 前川良太(大阪・アトム共同福祉会)

一人ひとりを大切にする保育」と「職員集団づくり」には、共通するものがある。「相手をシ
徴する事」「しっかり話を区こと」「いっしょに考えること」である。

誰かを移設するには、相手に対する理解が欠かせない。子ども、保護者、保育士同士全
てで共通している。悩み迷ったら、目の前の子ども姿に寄り添うことに立ち返ること、と講師は
強調していた。

■全体会 記念講演(8月4日、会場:高崎アリーナ) 「命を守り、豊かな発達を保証するために、今、大切にしたいこと」

白石正久(龍谷大学名誉教
授)

群馬で育った白石先生が小学生時代に受けた教えから出発し、その村から歩みだし平和を愛
し「発達保障」という理念に出会い子どもの発達を探求してきた過去を振り返り講演した。

子どもは生まれてから4つの発達段階を通して発達するという。その段階でそれぞれ競争社
会の影響を受けて、「社会を生き抜くスキルを身に着けることが発達」という様に捉えるよう
誘導されやすい環境におかれている。しかし、それは正しくない。「不器用であること、よく
失敗することが人間として劣っているというのか？」と問いかけられた。

《感想》

●第57回全国保育団体合同研究集会を視聴して 日本共産党議員団 北島元雄

最も心に残ったのは、子育て講座の池添氏の講義だった。自分が子育てをしていた時代から
すでに20年以上が経過しています、そのころに池添先生の話聞いていればすごく参考にな
ったのにと痛感する、子育ての固定概念を突き崩すような話でした。こうした支援があること
はどんなに心強い相談相手になっていることかと、うらやましい限りに思いました。子どもの
自己主張をサインととらえ、ダメ出しでなくその背景を見ていくこと、いくつになってもやり
直しができることなどわかりやすく、広い視野でお話いただきました。

また、白石氏の講義を聞き、伊勢崎市の公立幼稚園が掲げている理想が父母になぜ受け入れ
られず空回りしているのか。華美な集団演技で魅了する私立との違いを明確に打ち出し、子育
て理念を理解してもらう努力こそしていくべきと痛感しました。

子ども一人一人に目を向けた保育の役割を発揮できるようにするためにも、保育士の増員や
待遇改善の運動を当事者として頑張っている保育士さんの支援をしていきたいとあらためて
感じました。

●第57回全国保育団体合同研究集会を視聴して 日本共産党議員団 長谷田公子

子どもを保育所に預け、毎日仕事に向かっていた時期のことを久しぶりに思い出しました。
「子どもは任せて」という感じで受け入れて下さり、若い母親にとっては本当に頼りがいのあ
る保育所だったと思い返しつつ、講義などを聞きました。

IT化が保育園場にも取り入れられ保護者ともSNSで繋がる部分も出てきていると思いま
すが、生の言葉かけに救われる部分は大きいと思います。日々悩みながら仕事も子育てもと頑張
る保護者に寄り添う保育、そういうゆとりがある保育現場を作るためには、何と言っても保育
体制の充実や職員の皆さんの待遇改善が不可欠です。学びつつ、声をあげていきたいと考えま
した。

第57回 全国保育団体合同研究集会 in 群馬



1969年からつくづく合研集会は、保育者、保護者、研究者など子どもにかかわる人たちが創り、運営する集会です。

イラスト・近藤理恵

2025年 8月2日(土)・3日(日)・4日(月)

(会場) 高崎アリーナ ほか & オンライン参加

〒370-0846 群馬県高崎市下和田町 4丁目1-18

・JR高崎駅から徒歩10分

(シャトルバス利用の場合、高崎駅西口「高崎アリーナシャトルのりば」より乗車)

・関越自動車道・高崎玉村スマートICから車20分

〈Live〉集会当日

〈録画配信〉8月22日(金)～

9月23日(火)予定

	10:00	12:00	13:00	16:30
8/2 [土]		受付	全体会 (保育・子育てフォーラム、開催地企画)	うたごえ 交流会
8/3 [日]	講座・分科会など		昼食	講座・分科会など
8/4 [月]	全体会 (文化企画・記念講演)		13:30	16:00
	10:00	12:30	※オンライン分科会は、8月9日(土)に行います。 ——④ページ参照	

参加分担金……7,000円(学生4,000円) 『集会要綱』代含(事前にお送りします)

この集会は、みなさんの参加分担金で運営しています。

主催 第57回 全国保育団体合同研究集会実行委員会

〈全国団体〉全国保育団体連絡会、全国障害者問題研究会、全国福祉保育労働組合、全日本民主医療機関連合会、全国学童保育連絡協議会、全国幼年教育研究協議会、全国保育問題研究協議会、全国子どもと保育の明日を語る連絡会、日本医療労働組合連合会、日本自治体労働組合総連合、保育のうたごえ協議会、新日本婦人の会、赤ちゃんの急死を考える会、乳幼児の生活と教育研究会、全国民間保育園経営研究懇話会、全国小規模型保育連絡会、家庭的保育全国連絡協議会
〈地域団体〉全国47都道府県の地域実行委員会

後援

〈自治体〉群馬県、前橋市、高崎市、太田市、伊勢崎市、桐生市、館林市、渋川市、藤岡市、安中市、みどり市、富岡市、沼田市、大泉町、玉村町、邑楽町、吉岡町、みなかみ町、板倉町、甘楽町、東吾妻町、千代田町、明和町、下仁田町、神流町、榛東村、嬬恋村、昭和村、片品村、高山村、川場村、南牧村、上野村
〈教育委員会〉群馬県、前橋市、高崎市、太田市、伊勢崎市、桐生市、館林市、渋川市、藤岡市、安中市、みどり市、富岡市、沼田市、大泉町、玉村町、邑楽町、吉岡町、みなかみ町、板倉町、東吾妻町、千代田町、明和町、下仁田町、神流町、嬬恋村、昭和村、片品村、川場村、南牧村、上野村
〈社会福祉協議会〉群馬県、前橋市、高崎市、太田市、伊勢崎市、桐生市、館林市、渋川市、藤岡市、安中市、みどり市、富岡市、沼田市、大泉町、玉村町、邑楽町、吉岡町、みなかみ町、板倉町、甘楽町、東吾妻町、千代田町、明和町、下仁田町、神流町、嬬恋村、昭和村、片品村、高山村、川場村、南牧村、上野村
〈マスコミ・関係団体〉群馬テレビ、エフエム群馬、読売新聞前橋支局、朝日新聞前橋総局、上毛新聞社、毎日新聞前橋支局、群馬県民間保育園・こども園協会、群馬県学童保育連絡協議会

詳細は合研特設サイトをご覧ください(随時更新中) <https://hoiku-goken.org>

全国保育団体合同研究集会実行委員会

〒162-0837 東京都新宿区納戸町26-3 全国保育団体連絡会内
TEL 03-6265-3171 FAX 03-6265-3230



①

8月2日(土)**全体会**〈会場〉高崎アリーナ
13:00~16:30

Live/録画配信

開 会

群馬実行委員会によるオープニング

輝くこどもの歌 保育園にあふれるこどもの歌声と保護者と手をつなぐ沖縄エイサー保育・子育て
フォーラム**感じる、知る、つながる 豊かな保育・子育てを**

- 互いの「ズレ」や「違い」と共に歩く保育・子育て……五十嵐 元子(白梅学園大学)
- 子育て世帯の現状とその変化・社会で支える子育てと保育所の役割……蓑輪 明子(名城大学)
- 豊かな保育実践をつくるために大切にしたいこと……田中 浩司(東京都立大学)
- 子どもたちと生きる平和な世界を築くには……中西 新太郎(横浜国立大学名誉教授)

実践報告：各地で取りくまれた実践を報告します

全体会終了後
うたごえ交流会も
あるよ!

開催地企画

朗読と合唱「プロメテウスの火」平和の願いを込めて

第57回合研群馬実行委員会

8月3日(日)〈会場〉高崎アリーナ、Gメッセ群馬、共愛学園前橋国際大学
10:00~16:00**保育・子育て講座** 午前 10:00~12:30/午後 13:30~16:00

		テーマ(案)	講師名	会場
1	午前	いつからでもやり直せる保育・子育て	池添 素 (NPO法人福祉広場)	高崎アリーナ Live 録画配信
	午後	おいしく・楽しく・安全に 子どもの「食べる力」を豊かにはぐくむヒント	永井 志保 (横浜市総合リハビリテーションセンター)	
2	午前	ゼロ・1・2歳児とつくる心地いい暮らし	吉田 真理子 (三重大学)	Gメッセ群馬 録画配信
	午後	4・5歳児の発達の「今」を理解する あそびを土台に、小学校の「学び」が広がります	小川 絢子(名古屋短期大学) 山崎 直緒子(東京都公立小学校教諭)	
3	午前	障害のある子どもの発達と保育 ゆったりじっくり育ちあうために	木下 孝司 (神戸大学)	Gメッセ群馬 録画配信
	午後	大人こそ知りたい“子どものための性のはなし” 性のこと、ジェンダーのこと、いっしょに学んで考えよう	花田 満乃 (きりんほけんしつ)	
4	午前	平和と憲法 子どもたちの笑顔を守るために、いま私たちができること	伊藤 真 (弁護士、伊藤塾塾長)	共愛学園 配信なし
	午後	一人ひとりを大切にする保育と職員集団づくり 目の前の子どもの姿から考える	長瀬 美子(大阪大谷大学) 前川 良太(大阪・アトム共同福祉会)	
5	午前	子どものからだの育ちを考える 乳児からの運動発達と口腔機能の発達	町村 純子 (株)ゆう地域支援事業団)	共愛学園 配信なし
	午後	保育こんなとき、どうする? 保育者の「保育あるある」を子どもの思いから考える	清水 玲子 (保育実践研究会)	
実技※	午前	わくわくどきどき新聞紙あそび うちの子、最高! 子どもも一緒に参加できます	熊丸 みつ子 (幼児教育専門家、子育てアドバイザー)	高崎アリーナ 配信なし
	午後	保育者実技講座「うたとリズム」 子どもは参加できません。飲料、タオルをお持ちください	群馬実行委員会	

②

※動きやすい服装でご参加ください。

午前	保育制度・政策のさらなる改善をめざして 配置基準・処遇の改善と、こども誰でも通園制度(乳児等通園支援事業)を中心に	蓑輪 明子(名城大学) 小尾 晴美(中央大学) 岩藤 智彦(保育研究所) 逆井 直紀(保育研究所)
午後	教育・保育のデジタル化と、子どもの権利を尊重する保育の探求 保幼小連携が求められる中で考えたいこと	児美川 孝一郎(法政大学) 大宮 勇雄(元福島大学・全国保育団体連絡会)

会場分科会 〈会場〉高崎アリーナ、Gメッセ群馬、共愛学園 10:00~16:00

配信なし

●1日をとおして、実践提案をもとに話しあいます。

※会場先着順(事前申込み不要)

テーマ(予定)
保育園・幼稚園の保護者会活動
ゼロ歳児の保育
1歳児の保育
2歳児の保育
3歳児の保育
4歳児の保育
5歳児の保育
障害のある子どもの保育
ゼロ・1・2歳児のあそびと生活
3・4・5歳児のあそびと生活
子どもの発達と給食
子どもの生活と集団づくり

テーマ(予定)
子どもの生活と異年齢保育
絵本・ごっこあそび・劇あそび
美術・造形活動
子どもの生活と音楽
保育園の子育て支援活動
安全で豊かな園舎・保育環境づくり
小規模保育事業の現状と課題
民間保育園の経営と運営
公立保育所の廃止・民営化を考える
地域の保育要求実現に向けた運動と実践
特別分科会 保育施設での事故から考える

8月4日(月)

全体会

〈会場〉高崎アリーナ
10:00~12:30

Live/録画配信

文化企画

おはなしコンサート 演奏とおはなし スプリング・ノート
ピアノとヴァイオリン演奏「おはくちょうのそら」より

記念講演

**いのちを守り、豊かな発達を保障するために、
今、大切にしたいこと**——群馬から平和と人間発達への願いを込めて

白石 正久 (龍谷大学名誉教授)

発達は願いからはじまり、思い通りにならない現実を、互いに支えあって乗り越えていく道すじです。人間のいのちと人格の尊さを知り、歴史への希望を与えてくれる認識でもあります。戦後80年、平和な世界を願って、学びあい、語りあいを力に、歩みを進めましょう。



録画配信

8/22(金)~9/23(火) 予定 集会当日の録画映像を配信します。

**オンライン
参加方法**
(Live・録画配信共通)

『合研特設サイト』(<https://hoiku-goken.org>)の参加者専用ページから視聴できます。インターネットに接続できるPCやスマートフォンでアクセスしてください。

※参加者専用ページに入るには、パスワードが必要です(申込み完了後に送付される集会要綱に記載)。

※視聴にあたって登録やダウンロードは必要ありません。

オンライン分科会

8月9日(土)10時～16時

事前申込み制
(定員あり・先着順)

Zoomを使用して、1日をとおして実践提案をもとに参加者全員で討議します(録画配信なし)。

開催分科会は、決まり次第、合研特設サイトでご案内します。参加には、事前の申込みが必要です。

テーマ(予定)
働くことと子育て
ゼロ歳児の保育
1歳児の保育
2歳児の保育
3歳児の保育
4歳児の保育
5歳児の保育
障害のある子どもの保育

テーマ(予定)
子どもの発達と給食
子どもの生活と集団づくり
子どもの生活と異年齢保育
家庭的保育の現状と課題
子どもの生活と学童保育
保育者の処遇改善と保育内容の向上
乳幼児期の性と保育
乳幼児期の平和教育

オンライン分科会 申込み方法



合研集会への参加申込みをすませたうえで、
希望するオンライン分科会にお申込みください。



【申込み期間】7月12日(土)14:00～7月25日(金)17:00

定員に達した時点で締切ります。1つの分科会へ複数名で参加の場合、申込みは代表者のみ行ってください。

【申込み先】合研特設サイト <https://hoiku-goken.org>

【申込み手順】

- ①特設サイトの「オンライン分科会」ページから、希望する分科会の「申込み」ボタンをクリックする。
- ②申込みフォームの必要事項(都道府県/氏名/所属/担当クラス/メールアドレス*/当日連絡のつく電話番号等)を入力して「送信」をクリックする。
*登録するアドレスは、必ずケータイメール以外のものにしてください。
(アドレスの最後が、@docomo.ne.jpや@ezweb.ne.jpなどになっているものは避ける)
- ③折り返しonline@hoiku-goken.orgからメールが届くので、確認して申込みフォームを閉じる。
※しばらくしても届かない場合は、アドレスに誤りがあるか、フィルターでブロックされている可能性があります。
申込みフォームの「回答の編集」をクリックして修正、または別のメールアドレスを入力してください。
どうしてもメールが届かない場合はTEL 03-6265-3171へお問い合わせください。
- ④メールには、分科会の「Zoom情報・参加方法・問合せ連絡先」が記載されています。大切に保管してください。

【申込み前にご確認ください】

- 分科会は、集会実行委員会を構成する団体が分担して運営します。申込み時に入力された情報は、分科会の運営・連絡のために当該分科会を担当する団体と共有します。
- オンライン分科会は定員30枠です。なるべく園や地域でまとまってご参加ください。1つの分科会につき、同じ園の方から別々に申込みがあった場合、まとまったの参加をお願いする場合があります。ご了承ください。

保育者と父母を結ぶ雑誌 ちいさいなかま

●A5判 ●毎月28日発売 ●定価530円

合研集会から生まれた『ちいさいなかま』は、保育者・園の実践や、職員、保護者の生の声がいっぱい詰まった月刊誌です。子育てや保育、仕事、保育制度のことなどをいっしょに学び、交流しませんか？

編集：全国保育団体連絡会 発行：ちいさいなかま社

おすすめ
します！



令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

15

会 派 名	日本共産党議員団	議員氏名	長谷田 公子
支出年月日	令和7年8月 / 日 (第2四半期)	支 出 額	1,000 円
按分した場合	(金額)	円 × (按分率)	% = 円
使 途 区 分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 ④ 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人 件 費 8. 事務所費		
備 考			

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

2025年 8月 / 日

領 収 証

日本共産党伊勢崎市議団 様

¥ 1, 000

第57回全国保育団体合同研究集会 報告集代として

全国保育団体合同研究集会実行委員会
〒162-0837 東京都新宿区納戸町2-6-3
TEL03-6265-3171 FAX03-6265-8230

令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

16

会 派 名	日本共産党議員団	議員氏名	長谷田公子
支出年月日	令和7年8月21日(第2四半期)	支 出 額	15,400 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % = 円		
使 途 区 分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 ⑤. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費		
備 考	6月議会報告折込料 @3.5円×4000枚+消費税)		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

領 収 証

日本共産党

伊勢崎市議員団

様

No. _____

★ ￥19,400

但

折込料

4,000枚 (3.5円×4000枚)

2029年8月21日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額 14,000
消費税額等(0%) 1,400

コクヨ ウケ-55

〒372-0031 群馬県伊勢崎市今泉町2-947-13

有限会社 亀屋新聞舗

代表取締役 清水隆浩

電 話 0270(24)2662

T6-0700-0201-8722

収 入
印 紙

令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

17

会 派 名	日本共産党議員団	議員氏名	長谷田 公子
支出年月日	令和 7 年 8 月 31 日 (第2四半期)	支 出 額	4,517 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % = 円		
使 途 区 分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 ④ 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人 件 費 8. 事務所費		
備 考	新聞代 8月分		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

日本共産党市議団 様

しんぶん赤旗
領収書

2025 年 8 月分

4,517 円(税込)

新聞・雑誌名	税率	部数	金額(税込)
日刊「しんぶん赤旗」	8%	1	3,497
「しんぶん赤旗」日曜版	8%	1	990
新ぐんま	0%	1	30

(取扱先)
日本共産党伊勢崎・佐波地区委員会 伊勢崎市北千木町2087 TEL 0270-25-4854

日本共産党中央委員会
登録番号 T2700150120822

8%対象	4,155 円(税抜)	消費税	332 円
10%対象	0 円(税抜)	消費税	0 円

領収年月日
8/31



しんぶん赤旗

令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

18

会 派 名	日本共産党議員団	議員氏名	長谷田公子
支出年月日	令和7年9月18日(第2四半期)	支 出 額	12,716 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % =		円
使 途 区 分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費		
備 考			

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

領 収 証

2025年 9月18日(木) 17時15分

日本共産党伊勢崎市議員 国 様

金額 ￥12,716

(内消費税等 ￥1,156)

税率別内訳 / 課税対象額 10% ￥12,716

(内消費税額 ￥1,156)

但し、お品代として
上記金額正に領収致しました。

＜決済内訳＞

現金 ￥12,716

(内消費税等 ￥1,156)

現金お預かり ￥12,716

登録番号:T6050001000897

株式会社ケースホールディングス

ケースデンキけやきウォーク前橋

電話番号 027-210-6600

販売担当者

店コード 2200001112100

売上伝票番号 2310008558914

オンライン出張修理受付
↓大型家電の出張修理の申し込みはこちらから↓



新製品が安い
KS ケースデンキ

お買上げ明細	
2025年 9月18日(木)	17時15分
＜明細＞	
1 ●ケーブル/アダプター エレコム 4549550354202 MPA-CC5PSSA20WH 1点	・ 持帰 10% ¥1,980
2 ●AC充電器 京ハヤ 4580212297598 JKPD65M3WH 1点	・ 持帰 10% ¥4,378
3 ●ケーブル/アダプター エレコム 4549550354202 MPA-CC5PSSA20WH 1点	・ 持帰 10% ¥1,980
4 ●AC充電器 京ハヤ 4580212297598 JKPD65M3WH 1点	・ 持帰 10% ¥4,378
4点/合計	¥12,716
税率別内訳 / 課税対象額 10%	¥12,716
(内消費税額	¥1,156)

[0111210-011213961-2310008558914]

令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

19

会 派 名	日本共産党議員団	議員氏名	長谷田公子
支出年月日	令和7年9月30日(第2四半期)	支 出 額	4,517 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % =		円
使 途 区 分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 ④. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人 件 費 8. 事務所費		
備 考	新聞代 9月分		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

日本共産党市議団 様

しんぶん 赤旗
領収書

2025 年 9 月分

4,517 円(税込)

新聞・雑誌名	税率	部数	金額(税込)
日刊「しんぶん赤旗」	8%	1	3,497
「しんぶん赤旗」日曜版	8%	1	990
新ぐんま	0%	1	30

(取扱先)
日本共産党伊勢崎・佐波地区委員会 伊勢崎市北千木町2087 TEL 0270-25-4854

日本共産党中央委員会
登録番号 T2700150120822

8%対象	4,155 円(税抜)	消費税	332 円
10%対象	0 円(税抜)	消費税	0 円

領収年月日
9/30

扱着

しんぶん赤旗